

平成27年度第2回政策会議

日時 平成27年5月15日(金) 13:30~14:00
会場 市長会議室
参集者 工藤市長 中林副市長 片岡副市長 秋田企業局長
谷口企画部長 川越総務部長 山田財務部長

1 「市民交流プラザ整備基本計画(案)」について

◎対応 入江経済部長 平井経済部参事
阿部経済部参事 宿村中心市街地再生担当主査
井上中心市街地再生担当主査 兵吾中心市街地再生担当主査

◆ 議題の趣旨 ◆

「市民交流プラザ整備基本計画(案)」について協議しました。

◆ 協議の結果 ◆

本件の内容は了承されました。

◆ おもな発言 ◆

□平井経済部参事

市民交流プラザは、中心市街地活性化計画において、若手起業家の支援や若者の居場所となり長時間滞在できる施設として整備することとしており、旧グルメシティ五稜郭店跡に建設されるビルの4階に設置する予定である。

この基本計画を策定するため、大学生、会社経営者、まちづくり関係者など若手を中心に3回ほどワークショップを開催し、そこでの検討結果などを踏まえ、基本コンセプトを「函館のまちを舞台に未来を創る人たちを育む場」とした。

施設を整備する上での基本的考えは、利用しやすい施設、多機能かつ可変性のある施設、利用の動機付けとなるシンボル性のある施設の3点としている。

この施設には、交流活動や公益活動を行うための支援機能と文化芸術の振興を図るための機能を備えることとし、照明や音響設備、ステージ、防音機能付きの可動式間仕切りを備えたスタンディングで120名程度まで対応できる多目的ホール、カフェ機能やシンボル性を有するものを備えた200名ほどのスタンディングまで対応できるフリースペース、さらには受付、可動式ブース、情報発信スペースなど必要なスペースを設けることとしている。

施設の運営にあたっては、民間企業のノウハウを生かし利用者ニーズに配慮した柔軟な運営、事業永続性の高い運営をめざし、指定管理者制度を導入することとしている。

整備スケジュールについては、平成27年度に実施設計、平成28年度に施設整備を行い、平成29年3月のビル完成後に供用を開始する旨を明記している。

■工藤市長

入場料は取られるのか。

□平井経済部参事

入場料はとらない。多目的ホールを専有して使う場合には利用料金を設定しようと考えている。

■工藤市長

所管はどこになるのか。

□平井経済部参事

経済部商業振興課となる。

■工藤市長

例えば展示会等を開催できるようなスペースはあるのか。

□平井経済部参事

椅子や間仕切りが可動式なので、展示会等を開催できるスペースは確保できる。。
新商品の展示会，新製品発表会などに使っていただきたい。

■谷口企画部長

それでは案のとおり基本計画を承認することとしたい。